

舞鶴市入札監視委員会(平成30年度) 議事概要

開催日時及び場所	平成30年11月19日(月) 午後1時30分～3時45分 舞鶴市役所 本館4階 議員協議会室	
出席委員氏名	たか はし ゆき お 高橋 行 雄 (弁護士) 委員長 たまだかずや 玉田 和也 (舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科教授) かみこあきお 上子 秋生 (学校法人立命館大学教授)	
議事概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会あいさつ (阿部総務部長)</li> <li>2 委員長あいさつ</li> <li>3 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 入札及び契約手続きの運用状況等の報告 平成29年10月～平成30年8月までの入札状況等について事務局より報告</li> <li>(2) 平成29年10月～平成30年8月までの建設工事(抽出工事)に係る落札者決定までの審議 抽出案件の工事概要と入札経過等について工事担当課及び事務局より説明</li> <li>(3) 入札契約手続きの改善に関する審議 前回の委員会以降に行った改正内容等について説明</li> </ol> </li> <li>4 その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の抽出委員に高橋委員を選出した。</li> <li>・次回の開催は平成31年7月又は8月を予定する。</li> </ul> </li> </ol>	
審議対象期間	平成29年10月1日～平成30年8月31日	
抽出案件	総件数	(備考)
	5件	入札対象件数 134件
	一般競争入札	
指名競争入札	1件	
委員からの意見・質問とそれに対する回答等	意見・質問	回答等
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会意見の内容要旨	<p>議事(1)関係 特になし</p> <p>議事(2)関係 参加者が見込めない時の運用や発注内容に適した最低制限価格制度の弾力的運用など、引き続き課題について検討いただきたい。</p> <p>議事(3)関係 前向きな取組みは評価できる。 長いスパンで住民の利益が大きくなるよう、検証や見直しを行い、現実に即した入札制度となるよう常に努力をお願いしたい。</p>	

「3 議事 (1) 入札及び契約手続きの運用状況の報告」関係

意見・質問	回答等
<p>昨年に比べ応札率が上昇傾向にあるが、その要因は何か。また、金額が大きいほど応札率が上昇する傾向が見られるが、その理由は何か。 相変わらず失格者の割合が多い印象を受けるが、入札者の傾向はどのように見ているか。</p>	<p>応札率の上昇傾向と金額が大きいほど応札率が上がることには関連があります。 設計金額における経費割合の違いから、金額が大きいほど最低制限価格の予定価格に対する割合は若干高くなります。 今年度は、発注の多くを占める土木で比較的高額の案件の割合が高かったため、結果として応札率が上がっています。 また、最低制限価格付近への応札の集中傾向が、失格者の状況にも表れています。</p>
<p>発注量が減少すると、競争が一層厳しくなると思われるが、今年度は平均落札率が上昇傾向にある。一見矛盾すると感じるが、どのように考えられるか。</p>	<p>過去の平均落札率の上昇要因は、最低制限価格算定のモデル式の改正でしたが、今年度平均落札率が上昇した要因は、最低制限価格付近の応札傾向にある中で高額な工事の割合が多かったことと平均よりも高い落差率の案件が数件あったためです。</p>

「3 議事 (2) 抽出工事に関する工事の概要と入札の状況について」関係

抽出の趣旨
<p>以下のことに着目して5件抽出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金額が大きいもの及び合冊発注</li> <li>・落札率が高いもの</li> <li>・金額が少額で辞退者の多かったもの</li> <li>・災害復旧工事で落札率の高いもの</li> <li>・総合評価方式で発注されたもの</li> </ul>

① 白滝線道路改良工事 他2件 (合冊)

意見・質問	回答等
<p>合冊で発注する基準はどのようなものか。</p>	<p>災害復旧工事は1箇所ごとの発注ではとても回りきらない場合があるので、効率良くできるよう、ある程度地区でまとめて発注しています。</p>
<p>災害のように偶発的に必要となった工事と通常の工事を一緒発注した理由は何か。</p>	<p>本件は、離合ができない道路を改良する工事の奥で2件の災害復旧工事を行うことになったもので、その影響を考慮すると、1者が全て行う方が早く復旧できるということが付帯条件としてありました。</p>
<p>発注担当課が異なるが、このように効率的に一緒に発注するのはいいことと思う。</p>	

<p>失格した者と落札した者の金額の差は僅かで、失格した者の価格が決して極端なダンピングとは思えず、このような場合は最低制限の設定は適切だったのかなど疑問が生じる。</p> <p>入札のシステム上はきちんと行われていても、市民感覚的なものとのずれがあるので、さらに課題として考えていく必要があると思う。</p>	<p>本件の失格者の割合は、平均的な結果の一つですが、他には極端な結果となったものもありますので、引き続き課題と考えています。</p>
<p>今回の施工場所は市街地から離れているが、距離的なコストの違いが入札価格の違いには表れていないように思われる。</p> <p>そのことも含めて違和感を覚えるような結果に思える。</p>	

## ② 匂崎公園物見櫓撤去工事

意見・質問	回答等
<p>金額が少額であることと辞退者が多いことには関係性はあるか。</p> <p>随意契約できる金額の規定はいくらか。</p>	<p>平成29年度の解体工事3件の入札と比較しても、少額であったことが、辞退者が多い一番の理由と考えています。</p> <p>予定価格（税込）が130万円以下の場合は随意契約の手続きが可能になります。</p>
<p>修理して使うことは考えなかったのか。</p>	<p>主要部材が傷んでいましたので、地元の意見も伺い撤去することにしました。</p>
<p>改めて作る予定はあるのか。</p>	<p>平成10年に造ったものですが、最近では利用者もなかったこともあり、現在のところ、改めて造る予定はありません。</p>

## ③ 舞鶴親海公園災害復旧工事

意見・質問	回答等
<p>一般競争に付して参加者が3者であったが、もう少し参加者が増える手立てはなかったか。</p> <p>最低制限価格の必要性には、地元業者の育成の観点もあると思うが、市外業者がメインになる工事でもあるので弾力的な運用があってもいいと思う。</p>	<p>本件は、JVの代表となる市外業者に同種工事の施工実績を求めたものですが、実績のある業者が少なかったものです。</p> <p>土木工事の入札に見られる特徴を凝縮したような結果ですが、検討の材料と考えています。</p>
<p>結果的に落札金額と失格となった入札金額の差が大きく、もったいない気がする。</p>	<p>この工事は、既存の鋼管が抜けにくいなど特殊な要件がありました。また、事後的ではありますが、作業台船の手配が困難とも聞き及んでいるところで、その辺りの見込みあったものと思われます。</p>

<p>近年、災害が増えている。 緊急を要する場合の契約手続きは定められているのか。また、それが無い場合は、何か問題を抱えていないか。</p>	<p>本件のように復旧工事は入札により発注しておりますが、地方自治法施行令において緊急時は随意契約ができることが定められており、本市も応急復旧は随意契約で行っています。 また、国からも災害時の随意契約の積極的活用についての通知がなされているところです。</p>
<p>日本で海洋土木工事ができる会社は少なく、競争が働きにくい状況ともいえる。 本件は特殊な工事であるが、設計にあたってどのように見積を行ったのか。 また、変位が70cmとのことだが、そもそも復旧しなければならなかったのか。安全性を確保した上でそのまま活用することはできなかったのか。</p>	<p>基本的には歩掛がありますが、回転式圧入工法の施工実績のある3者から参考の見積を徴しました。 実際のところは鋼管杭が破断していましたので、現状のままでは使えず、災害復旧として認められたものです。</p>
<p>日本に数社しかいないとなると技術力は拮抗していると思う。 その様な場合は、一般的な工事と同じような最低制限価格とするのではなく、運用に幅を持たせる必要もあるのではないか。</p>	<p>全て同じ運用で行っていますので、個々の対応は難しいところです。</p>

④ 上福井浄水場 配管布設（その4）工事

意見・質問	回答等
<p>できるだけ参加者が1者にならないような方策を考えておかないといけないと思うが、今回の参加要件では、入札に参加した1者しか該当しなかったのか。</p>	<p>参加要件として、資格がいる可能性のある範囲を広げたものでしたが、結果として1者となったものです。</p>
<p>1者しか見込めない場合、はじめから随意契約はできないのか。何か理屈を見つけてできないか。</p>	<p>入札を行って中止等になった場合に随意契約の選択肢があります。 入札者が1者の場合、指名競争入札の場合は中止しますが、一般競争入札の場合は要件の見直しを行う場合を除いて1者でも行います。</p>
<p>鉄道近接工事の実態として仕方ない部分もあり、交渉して適正な価格を探す努力は必要だが、この先、当該業者が資格者を保持しなくなった場合のことを考えておかないといけないと思う。</p>	

⑤ 東浄化センター汚泥処理施設（し尿）解体工事 他1件（合併）

意見・質問	回答等
<p>調査基準価格は最低制限価格と同じ基準で算定するのか。</p> <p>最低制限価格よりも弾力的運用となっているもので、通常の入札にも適用できないか。</p>	<p>調査基準価格と最低制限価格の算定の基準は同じです。</p> <p>7月からこの方法を導入しまして、本件以外にもう1件行ったところです。</p>
<p>総合評価は、入札価格が少々高くても技術評価点が高い場合に落札できる方式と理解しているが、今回の入札結果は、本来の趣旨と異なるのではないか。</p> <p>良い仕事が次に繋がるような、舞鶴に相応しいものにカスタマイズしていただきたい。</p>	<p>調査基準価格以上の場合については、従来の総合評価方式と同じです。</p> <p>従来、総合評価方式に最低制限価格を設けていましたが、会計検査院の調査結果に伴う国からの見直しの通知を受け、ダンピング対策の実効性が確保できるよう検討したものです。</p>
<p>一般的感覚のダンピングはもっと大幅なことで、僅か1%に満たない範囲をダンピングとして議論することはそぐわないと思う。</p> <p>調査基準を下回った場合に減ずる点数が大き過ぎると全体のバランスを損ねかねず、技術評価点が十分活きているか等配点のバランスをいろいろ検討するのが良いと思う。</p>	<p>現在のところ僅か2件の実施ですが、検証を重ね、より良いものとなるように検討していきたいと考えています。</p>

「3 議事 (3) 入札契約手続きの改善について」関係

意見・質問	回答等
<p>いろいろ考えて新しい方式に取り組むことは、前向きで評価できる。</p> <p>その上での注文として、最低制限価格の運用に関しては、全員失格時のみの変動から、ある程度失格した場合の変動に移行していく方が最低制限価格の信頼性の向上の意味からも理屈が通ると思う。</p> <p>また、変動値の算定方法として平均は説明が付きにくい点もあり、論理的には調査価格の方向が適していると思う。</p>	<p>低入札価格調査制度は制度的に優れていると思いますが、事務的にはなるべく効率的に行いたい思いもあります。</p> <p>複雑な処理を行うとミスの可能性も増えますので、慎重に行っているところです。</p>
<p>変動の算定においては、異常値を排除した上での平均値となっているので妥当性はあると思う。</p> <p>全失格時以外の変動に対する抵抗感もあると思うが、参加者が納得する方法を検討してほしい。</p> <p>まずは、貴重な第一歩がスタートしたことは喜ばしく思う。</p>	

<p>予定価格の事後公表はどのように考えているか。</p>	<p>今年度試行した案件は総合評価方式の案件で1件行いました。 事後公表で危惧されるのは情報漏洩ですが、制度的にも総合評価方式との相性がいいと考えていますので、来年度も同様に試行できればと考えています。</p>
<p>情報漏洩を防ぐコンプライアンスの取組みはどのような状況か</p>	<p>既存の倫理条例の中で、工事に特化した要綱等を整備して技術職員を対象に今後の取組みや注意点の説明会などを実施しました。</p>

○ 全体を通して

意見・質問	回答等
<p>前向きで考えていることは建設的なこととである。 法令の制限もあり難しいところもあると思うが、舞鶴に適した方式をいろんな面で考えることが大切である。 発注量の拡大が見込めず、人口も減少の傾向という状況にあっては、入札すれば免責という考えは脱すべきで、長いスパンで見て住民の利益が大きくなる方法を考える必要がある。 現実に問題が起きているところから工夫していくことが大切である。</p>	
<p>本委員会の機能に制度面についての内容が加わり、目に見えて変わりつつある。 変更した結果については検証の必要があると思うが、舞鶴バージョンとして地域と共生していくことも考えながら、よいシステムを目指しつつ、見直しが必要となった場合は身軽に対応する姿勢も必要と考える。</p>	
<p>徐々に現実に即して制度を対応させていくことが求められる。 目標値は動いていくので、それに対応できるような入札制度となるよう常に努力をお願いしたい。</p>	